

トピックス

～ 県民との交流事業 ～

各種セミナーを開催中です

一般県民対象の「農的楽しみセミナー（いどりフラワーコース・おいしいベジタブルコース・あま〜いブルーベリーコース）」を各4回と、小学生を対象とした「子どもアグリ科学教室」を3回開催中です。

また、震災以降休止していた「田んぼの学校」を再開しました。郡山女子大学の学生が参加して田植えを体験しました。

※今年度の農的楽しみセミナー、子どもアグリ科学教室の受講募集は終了しています。



子どもアグリ科学教室



農的楽しみセミナー



田んぼの学校

センターからのお知らせ

第10回 農業総合センターまつり

研究成果の紹介や技術相談、子どもも楽しめるイベントを行いますので、ご家族、お友達をお誘い合わせのうえ、ぜひご来場ください。

テーマ「来て！見て！知って！満開 ふく農しま」

果樹研究所会場（福島市飯坂）

日時 9月4日(金) 9:30~16:00
9月5日(土) 9:30~15:00
場所 福島県農業総合センター 果樹研究所
(福島市飯坂町平野字檀の東1)
連絡先 024-542-4191

果樹研究所会場では、**果物セミナーを開催します！**

- 果樹栽培相談
 - 果物の試食コーナー
 - 果物等即売会
 - 試験ほ場公開
- おいしい季節の果物直売します！

本部会場（郡山市日和田町）

日時 9月11日(金) 9:30~16:00
9月12日(土) 9:30~15:00
場所 福島県農業総合センター
(郡山市日和田町高倉字下中道116)
連絡先 024-958-1700

本部会場では最新の試験研究を紹介します！

- 最新アシストスーツの農業利用法やアイガモロボット、トラクター転倒防止スマホアプリの紹介
- 福島県オリジナル品種(天のつぐ等)の紹介
- 鳥獣害対策セミナー

- 畜産研究所コーナー
- 生産物直売展
- 農業技術相談
- 実験体験コーナー
- 安全安心コーナー
- お楽しみイベント

農業短期大学校 榊隆祭を開催

卒業研究成果や各学科紹介などのパネル展示、模擬店のほか、学生が丹精込めて育てた農産物販売などを行う予定です。ぜひ、農業短期大学校へお越しください！

日時 10月25日(日) 10:00~14:00
場所 農業短期大学校
(西白河郡矢吹町一本木446番地1)
連絡先 0248-42-4111



毎年「ぎわう」農産物直売

各学科コース展示



農業総合センター農業短期大学校 平成28年度 学生募集



職業として農業を選択する意欲ある農業者・地域農業指導者を養成するため、農学部本科及び研究科の学生を募集します。

詳細につきましては、農業短期大学校ホームページをご覧ください。農学部教務管理(電話0248-42-4113)までお問い合わせください。

| | 募集人数 | 願書受付期間 | 試験日 |
|-----|--|--------|--------------------|
| 本 科 | 60名(修学年限2年) 農産学科15名程度 園芸学科30名程度 畜産学科15名程度 | 推薦入試 | 10月2日(金)~10月9日(金) |
| | | 一般入試 | 前期 |
| 後期 | 1月15日(金)~1月22日(金) | | |
| 研究科 | 若干名(修学年限1年) | 一般入試 | 12月24日(木)~1月20日(水) |
| | | | 2月3日(水) |

ラウンド農ふくしま 第28号

http://www.pref.fukushima.lg.jp/w4/nouyou-centre/index.htm
E-mail:nouyou.jouhou@pref.fukushima.lg.jp

編集・発行：福島県農業総合センター
〒963-0531
福島県郡山市日和田町高倉字下中道116番地
TEL 024-958-1700 FAX 024-958-1726



「植物油インキ」を使用して印刷しました



古紙配合率70%再生紙を使用しています

福島県農業総合センターだより

第28号

2015.8

ラウンド農ふくしま

Fukushima Agricultural Technology Centre

センター所長室から

福島県農業総合センターの役割



所長 小巻克巳

福島県農業総合センターは農業の試験研究、教育及び安全な生産を総合的に推進する福島県農業のシンボルとして平成18年に発足し、今年10年目を迎えました。技術開発機能を核に、安全・安心な農業を推進する機能、地域農業を支援する機能、先進的農業者を育成し、支援する農業教育機能、さらに県民との交流・情報発信機能という5つの機能を兼ね備えた農業振興の拠点として活動してきました。今後も、東日本大震災によって被害を受けた農業が再生できるよう、そしてさらに力強く発展できるよう、5つの機能をフルに活用して取り組んでいきます。



県民との交流・情報発信機能
～田んぼの学校～(郡山女子大生参加)
【企画経営部】

農業総合センターの5つの機能



地域農業を支援する機能
～震災復興のための現地試験～
【浜地域研究所】



技術開発機能
～モモの新品種の調査～
【果樹研究所】

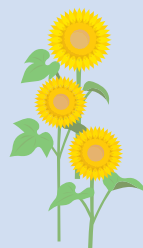


先進的農業者を育成し支援する農業教育機能
～ネギの定植実習～
【農業短期大学校】

安全・安心な農業を推進する機能
～放射線モニタリング～
【安全農業推進部】

contents

- センター所長室から
福島県農業総合センターの役割 1
- 試験研究の紹介
各部・各研究所からのいちおしの最新研究成果のご紹介..... 2・3
- トピックス
県民との交流事業(農的楽しみセミナー・子どもアグリ科学教室・田んぼの学校)..... 4
- センターからのお知らせ
第10回農業総合センターまつり・榊隆祭・農業短期大学校の学生募集 4



JAファーマーズマーケット 「元気」発信! 「魅力」発信! JAの農産物直売所。地域の特徴を活かし、地産地消を推進しています。

朝採り新鮮野菜が たくさん!!

生産者から直に購入できるので 安い!

生産者の顔が見えるので 安心!

放射性物質検査を行い 安全を確保!

8月31日はやさいの日

みんなのよい食プロジェクト

JAグループ福島

http://www.ja-fc.or.jp

研究の紹介

各部・研究所からのいちおしの最新研究成果をわかりやすく解説します

作物園芸部 紫外線 UV-B 照射によるイチゴうどんこ病の抑制

植物体の病害抵抗性を高める紫外線（UV-B280～315nmの波長域）を利用し、「とちおとめ」におけるイチゴうどんこ病を抑制する効果的な処理方法を明らかにしました。

紫外線の照射は、採苗期、育苗期、収穫期のどの時期でもよく、毎日夜間3時間の照射でより高い効果が得られます。本効果が得られる機器には、UV-B電球型蛍光灯があります。



UV-B電球型蛍光灯

イチゴほ場への設置

問合せは 作物園芸部野菜科 ☎024-958-1724まで

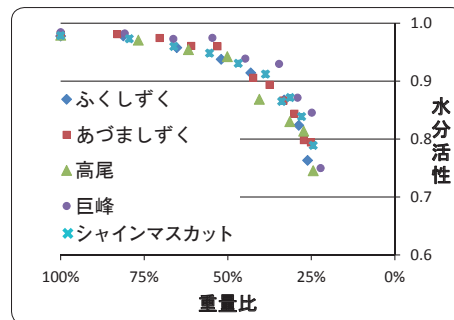
生産環境部 大粒干しブドウ乾燥の目安と乾燥時間の短縮法

大粒系品種の干しブドウを製造するとき、重量比（%）（乾燥後重量 ÷ 乾燥前重量 × 100）が25%以下まで、あるいは、糖度が65（Brix・%）以上になるまで乾燥させると、どの品種でもカピの生えない水分活性（0.8未満）になります。



乾燥の様子

また、「あづましずく」の場合は皮に亀裂が入る程度に熱水処理してから乾燥させると、乾燥時間を短縮することができます。



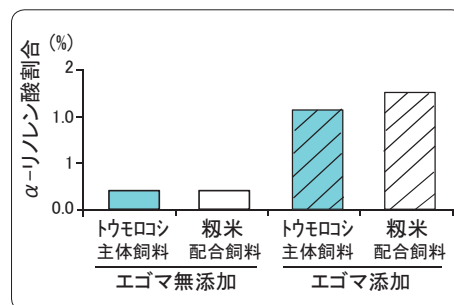
重量比と水分活性

問合せは 生産環境部流通加工科 ☎024-958-1719まで

畜産研究所 飼料用米を与えてもエゴマ豚のα-リノレン酸は減少しません

豚にエゴマを出荷前1ヶ月間与え、豚肉中のα-リノレン酸*1含量を通常より高めた福島県の銘柄豚肉「うつくしまエゴマ豚」の生産には、通常はトウモロコシ主体の飼料を与えますが、代わりに籾（もみ）米配合飼料を用いても、豚の発育に影響はなく、ロース肉に含まれるα-リノレン酸は従来と同様に多量であることがわかりました。

*1 生活習慣病の予防に関わることが注目されている脂肪酸のひとつ。



ロース肉のα-リノレン酸割合

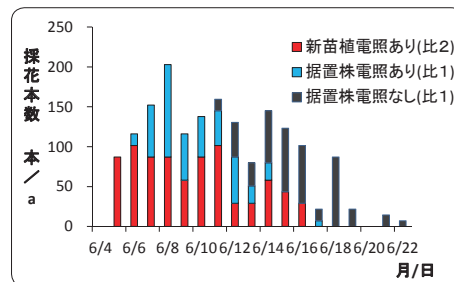
問合せは 畜産研究所肉畜科 ☎024-593-1223まで

会津地域研究所 宿根カスミソウ品種「パールスター」の6月前半出荷技術

「パールスター」では、新植したセル苗と前年の据置き株に電照する栽培を組み合わせると、従来より1週間程度早い6月前半から連続出荷ができます。電照は22:00～2:00の連続照明で、光源は白熱電球とLED電球（一般電球型電球色）のいずれを用いても切り花品質に差はありません。



新苗の開花状況 (LED電球使用)



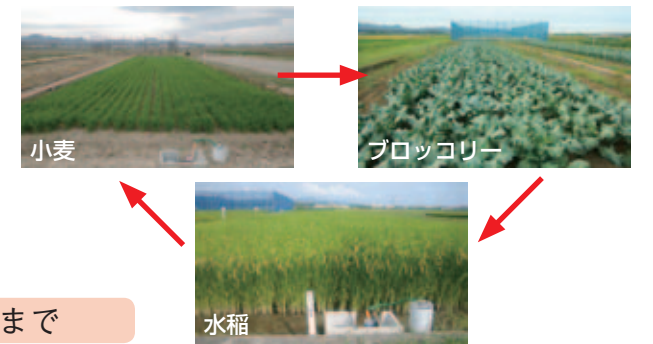
「パールスター」の栽培方法の組合せ例 (注) 比は組合せの比率

問合せは 会津地域研究所 ☎0242-82-4417まで

浜地域研究所 FOEASを導入することで安定した田畑輪換ができます

地下水水位制御システム「FOEAS（フォアス）」とは地下水水位を制御するためのパイプラインで、干ばつや湿害が回避できます。

浜地域研究所内のFOEASを導入した試験ほ場で土地利用型作物の2年3作体系（水稲-小麦-大豆又はブロッコリー）の作付けを実施し、生育に応じた水位制御によって安定した収量と品質を得ることができました。



問合せは 浜地域研究所 ☎0244-35-2633まで

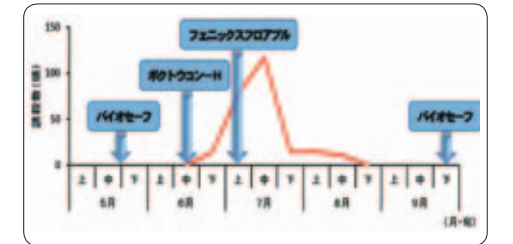
果樹研究所 リンゴのヒメボクトウは対策を組み合わせで防除する

リンゴの難防除害虫であるヒメボクトウの幼虫はリンゴやナシの枝幹内部を集団で加害します。また、幼虫期間が長く、羽化するまで2年以上を要するため通常の薬剤散布では防除が難しい害虫です。

このため、成虫の交尾を阻害する交信かく乱剤「ボクトウコンーH」、ふ化幼虫の食入を阻害するジアミド系殺虫剤「フェニックスフロアブル」、幼虫の密度を低下させる昆虫病原性線虫剤「バイオセーフ」を体系的に組み合わせで処理することにより効果的に防除する技術を開発しました。



ヒメボクトウの幼虫

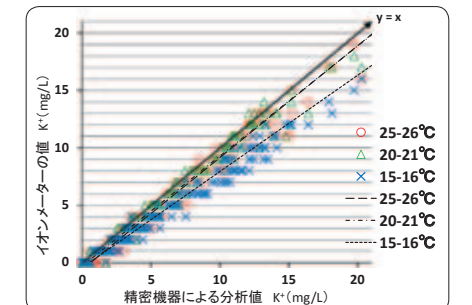


成虫の発生消長と処理体系

問合せは 果樹研究所病害虫科 ☎024-542-4199まで

生産環境部 カリウムイオンメーターを利用した分析時の温度が測定値に及ぼす影響

作物の放射性セシウム吸収を抑制するために土壌中・土壌溶液中のカリウムイオン濃度を把握することが重要です。より簡易にカリウム濃度を測定するために小型イオンメーターを用いますが、温度により測定値が異なる可能性があります。今回、異なる温度条件で測定を行い、15～25℃では測定値に大きな差がないことがわかりました。また、いずれの温度でも精密機器による分析値と相関がみられ、より広い温度条件で測定可能です。

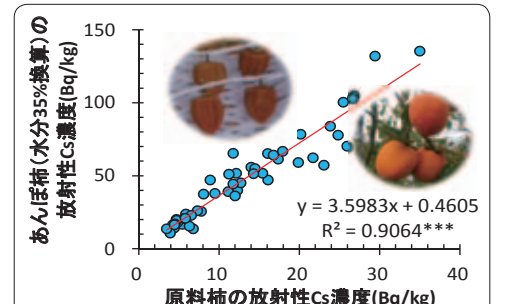


水田土壌溶液中カリウムイオン

問合せは 生産環境部 環境・作物栄養科 ☎024-958-1718まで

果樹研究所 原料柿の放射性セシウム濃度とあんぽ柿との関係

あんぽ柿の原料となる柿の放射性セシウム濃度は、2013年に比べ2014年は確実に減衰しています。また、あんぽ柿に加工した場合、放射性セシウム濃度は原料柿の約3.6倍になることや、幼果の同濃度が10Bq/kg以下の場合、あんぽ柿に加工しても50Bq/kg以下となる傾向がわかりました。あんぽ柿加工の参考にできます。



あんぽ柿と原料柿の放射性セシウム濃度

問合せは 果樹研究所栽培科 ☎024-542-4951まで